

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	令和8年度 第2回 会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出協議会
開催日時	令和8年8月17日（月） 午後6時30分から 午後8時30分まで
開催場所	本郷地域づくりセンター A研修室
出席者	参加者：9名（委員9名） 事務局：8名（にぎわい創造課5名、生涯学習課1名、コンサルタント2名）
議 題	・今年度に想定している実証実験について ・本郷インフォメーションセンターの改修について
資料の名称	・次第 ・委員名簿 ・資料1 今年度に想定している実証実験について ・資料2 本郷インフォメーションセンターの改修について
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
内容	
1. 開会 2. あいさつ（委員長） - 高梨委員長より、熊本地震の話題などを交えながら地元意識の重要性に触れ、本日の協議に向けて活発な意見交換のお願いと挨拶があった。 3. 協 議 （1）今年度に想定している実証実験について 事務局および各部会より説明と協議 焼き物部会 - 街歩きをしながら焼き物に触れられるよう、焼き物行灯の設置を3ヶ所程度で想定し、今後個別に検討していく。 - 鬼瓦の行灯を9月開催の「宵祭り」に合わせて本郷インフォメーションセンターに設置する。 - 本郷学園（後期課程等）による作品づくりについて、学校側の協力体制（材料費やカリキュラム内への組み込み等）を確認。実現可能性あり。来年度以降の本格的なまちなかへの設置を見据え、今年度から準備や方向性の検討を進める。 「窯元巡り（仮称）」の開催については、寒くなる前の時期を考慮し、11月7日（土）または8日（日）の開催を方向性として調整する。 - 窯元の作品をまちなかへ設置する取組の一つとして、大きさは300×400程度などで	

焼き物サインの設置も検討していく

賑わい部会

- 単発のイベントにせず、週末ごとに誰かが活動している状況を目指す。
- 本郷地域のにぎわい創出に向けて9月19日の本郷地域の宵祭りに実証実験を実施する。
- 本郷インフォメーションセンターを活用した「ミニ瀬戸夜市」の出店（5店舗程度を想定）や広報、駐車場の誘導・警備について検討を進める。
- COBACOなどを活用して本郷の農産物等を用いた食べ歩きフードのメニューの提供を検討していく。
- 食べ歩きフードの開発として、過去にあった「つめっこやき」の復活、地元野菜、りんごなど新たな名物づくりのアイデアについて意見交換を行った。

今後の予定

9月19日

本郷インフォメーションセンターにてマチミセ本郷の実施。

COBACOにて本郷食べ歩きフードの提供。

本郷インフォメーションセンターに鬼瓦行灯を設置しライトアップ。

11月上旬

焼き物部会にて窯元巡り夜市（仮称）の実施予定。

にぎわい部会とのコラボも可能であれば検討。

（2）本郷インフォメーションセンターの改修について

事務局より説明

- 設計・計画の変更点として、東側壁面の拡張は技術的に困難なため見送り、外壁の柱は現状のまま進める。2階は観光協会と生涯学習課の共用スペースとし、ジオラマ展示等を集約する。1階南側の一部拡張や展示スペースの設置案を検討中。
- 工事期間中の観光協会の仮設事務所として隣接する「いわたて」を活用し、工事終了後も引き続きにぎわい創出の場としての活用を検討する。
- 次回（第3回）の協議会において、委員の皆様から本格的な改修に関する意見を一人ひとり伺う予定。

4. 学識経験者からのご意見（八木橋委員）

- 街の魅力を継続的に感じられる仕組みづくりや、単発のイベント頼みではなく日常的に地域文化のストーリーを感じられる環境づくりが重要。大学の専門性を活かしたアプローチについても、事前の計画であれば協力可能。

5. 今後の予定

第3回 協議会

時期：10月下旬頃を予定（日程は決まり次第通知）

主な議題：本郷インフォメーションセンターの改修に関する意見集約。

6. その他

事務局より事務連絡（委員報酬の振込等）をした。

7. 閉会

以上